

## 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として開催されます。

本県においては、昭和 53 年（1978 年）に「日本の屋根に手をつなぐ」をスローガンに「第 33 回国民体育大会（やまびこ国体）」、また同年には「さわやかにあたたかく ひたむきに」をスローガンに「第 14 回全国身体障害者スポーツ大会（やまびこ大会）」が開催され、当市は 5 つの競技を運営しました。そして、平成 10 年（1998 年）には「長野冬季オリンピック・パラリンピック」を開催し、大会を成功に導いた貴重な有形無形の財産は、その後の当市のスポーツの普及・振興や市勢発展の礎となっております。

前回大会から 50 年目、長野冬季オリンピック・パラリンピックから 30 年目の節目となる令和 10 年（2028 年）には、本県において国内最大スポーツイベントの「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会」の開催が内定しております。国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会が開催されることは、市民一人ひとりのスポーツへの関心を高め、第五次長野市総合計画後期基本計画の目指す「スポーツを軸としたまちづくりの推進」の実現に大きく貢献するものと期待されます。

このような意義ある大会を成功に導くために、長野冬季オリンピック・パラリンピックの開催以来、多くの全国大会、国際大会を開催してきた経験を活かしながら、関係機関・団体との連携のもと、大会の開催に必要な準備及び運営に関する事業を推進するため、市民・各種関係団体・行政からなる「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野市準備委員会」を設立し、長野市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものです。

令和 6 年 7 月 2 日